

二十歳の抱負

「二十歳の集い」がすばらしい思い出になるよう、企画から準備、式典本番まで関わってくれた実行委員5人に、抱負を語っていただきました。



敷地 風香さん

この度は、私たちのためにこのような素敵な場を設けていただいたことを心より感謝申し上げます。

私が二十歳の節目をお祝いできたことは、いつも味方でいてくれた家族をはじめ共に過ごしてきた友達、そして温かい地域の皆様の支えがあってこそと感じています。

二十歳を迎えた私たちは自由でたくさんの可能性を持っています。まだまだ未熟者の私ではありますが、自分の言動に責任を持ち、これからも日々周りの人への感謝を忘れずに精進してまいります。



樋口 友香さん

本日は、このような素晴らしい式典を開催してくださり、誠にありがとうございます。二十歳という節目に立ち、この二十年間を振り返ると、楽しいことも、苦しいことも経験し、そのすべてが私の成長に繋がったと実感しています。その間、常に支えてくれた家族や友人たちのおかげで、今ではそれらの出来事が最高の思い出となっています。

これからは、一人の大人として多くの試練が待ち受けていると思います。しかしその際には、安中市での経験を胸に、どんな困難も乗り越え、さらに成長していきたいと考えています。そして、これまで私を支えてくださった安中市の皆様へ恩返しできるように、精一杯努力してまいります。



塩谷 万葉さん

本日は二十歳を迎えた私たちのために、盛大な式典を開催していただきありがとうございます。私は、曾祖父が母に見立てた振袖で、二十歳の集いを迎えることができ、大変うれしく思います。

私はまだ学生で、経済面だけでなく精神的にも自立できていない面もあり、未熟なところばかりです。

多くの人に支えられ、たくさんの思い出と思いやりをいただけてきたことに気づき、この感謝の気持ちは、心身共に成長し社会に貢献できる「人」となることで恩返ししたいと思います。今後体験することから多くを学び立ちできる一人の人として成長していきます。



小坂橋明貴さん

本日は二十歳の集いにお集まりいただき、感謝申し上げます。この機会を通じて、私は多くの方々に支えられてきたことを実感しています。家族や友人、近所の方々に感謝の気持ちを伝えたいと思います。

今日、私たちは人生の節目を迎え、法的には成人ですが、社会の一員としての自覚を持ち、責任ある行動が求められます。

これからは自分の道を切り開き、夢を実現するために共に支え合い、素晴らしい未来を築いていきましょう。



中村 天音さん

物心がついてから十数年経っての経験と感想。

私は行動が遅く、朝早く起きようと思っても起きられないこともよくありました。しかし、こんな私ですが、学校に遅刻してしまった時でも腐らず生きてきました。私がこれまでの経験で学んだことは、諦めたければ諦めても良いということが一つ、もう一つは、挑戦しなければ何も得られないし経験も得られないということです。そして、周りに助けてくれる人がいたら、こういう人こそ大事にしたいものです。

私は助けてくれる人や気にかけてくれる人がいたおかげで、なんとかここまで来ることができました。このことに感謝し、これからもご支援ご協力いただけたら幸いです。